

令和3年度地域公共交通シンポジウム in 中部

公共交通変革の道しるべ

公共交通が「いま」を乗り越え、「未来」へ進むために！

参加無料・
要事前申込



開催日時

令和3年

11/12 金 13:30-17:10

開催方法

オンライン配信
(Zoomウェビナー)

新型コロナウイルス感染症の流行によって、過去に例をみない規模で輸送需要が減少し、地域公共交通にとって危機的な状況が続いています。コロナ禍以前から既に厳しい状況下にあった地域公共交通がこの最大の危機を乗り越えるためには、多様な主体の連携・協同のもと、あらゆる施策を総動員して取り組んでいく必要があります。

本年5月に閣議決定された交通政策の基本的な方向性を示す新たな交通政策基本計画(第2次計画)のポイントや各主体に求められる役割を整理するとともに、中部地域内外の優良事例を紹介することを通じ、公共交通が危機を乗り越えるためのヒントを探るためシンポジウムを開催します。

プログラム

はじめに

/13:30-14:05

開会挨拶

中部運輸局長 嘉村徹也

イントロダクション

名古屋大学大学院環境学研究科教授 加藤博和氏

「第2次交通政策基本計画について」

国土交通省総合政策局交通政策課企画室長

赤星健太郎

第1部 自治体の取り組み

/14:05-14:50

「地域と共に、コロナ禍を乗り越える」

ー富士市の公共交通ネットワークについてー

静岡県富士市都市整備部都市計画課

公共交通推進担当 稲葉基貴氏

「広域自治体による地域公共交通の現場支援」

ー山形県地域公共交通計画スキームによる取り組みー

山形県みらい企画創造部企画調整課長 酒井達朗氏

第2部 交通事業者の取り組み /14:50-15:35

「コロナ禍における

サステナブル・エコツーリズム事業の展開」

濃飛乗合自動車(株)取締役営業本部長 坂上博幸氏

「自治体との協働による生産性向上策の実施」

三重交通(株)人事部長 早川正素氏

第3部 パネルディスカッション /15:50-17:10

「“南部バス”再生から健全化、成長へのみちのり」

岩手県北自動車(株)執行役員南部支社長

高橋学氏

「公共交通分野におけるデータ流通・活用の重要性」

合同会社 MoDip 代表 諸星賢治氏

「地域公共交通の生き残り【サバイバル】のために いま何をすべきか」

【コーディネーター】名古屋大学 加藤氏

【パネリスト】山形県 酒井氏・岩手県北自動車 高橋氏
MoDip 諸星氏

話題提供

ディスカッション

主催 国土交通省中部運輸局

問合せ 中部運輸局交通企画課
TEL:052-952-8006

申し込み
はこちら！

WEBから登録 <https://odekake.co.jp/form/>

※申込締切:11月11日(木)

